

自己紹介： 岡橋 寛明（おかはし ひろあき）

資料1



- 2013年 みやこキャピタルを創業
- 代表取締役 パートナー
- 経済産業省にてベンチャー企業振興、産学連携に関する政策を企画・立案
- 複数のベンチャー企業経営を経て、大手金融機関系VCにおいて技術系ベンチャー企業へ投資・経営支援
 - 日本ベンチャーキャピタル協会 (JVCA)
産学連携部会 委員
 - 経済産業省
「大学発ベンチャーのあり方研究会」 委員
 - J-Startup(経済産業省) 推薦委員



JVCA
Japan Venture Capital Association

日本ベンチャーキャピタル協会 活動のご紹介

一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

商号 : 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会
 英文名 : Japan Venture Capital Association
 会長 : 赤浦 徹・中野 慎三
 所在地 : 〒107-6003 東京都港区赤坂一丁目12番32号 アーク森ビル3階
 設立日 : 2002年11月28日
 決算月 : 4月

理事 : (2020年7月10日現在)

会長	赤浦 徹	インキュベイトファンド 代表パートナー
会長	中野 慎三	伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長
専務理事	高野 真	D4V合同会社 ファウンダー兼CEO/リンクタイズ株式会社 代表取締役会長 兼 Forbes JAPAN発行人
専務理事	福本 拓也	株式会社産業革新投資機構 取締役 CSO
常務理事	郷治 友孝	株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC) 代表取締役社長
常務理事	渡辺 洋行	B Dash Ventures 株式会社 代表取締役社長
常務理事	坂本 信介	三菱UFJキャピタル株式会社 代表取締役社長
理事	伊佐山 元	株式会社WiL 代表取締役
理事	David Milstein	Eight Roads Ventures マネージング・パートナー 日本代表
理事	松本 季子	株式会社ジャフコ 執行役員
理事	田島 聡一	株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役・General Partner
理事	内山 春彦	DBJキャピタル株式会社 代表取締役社長
理事	林 龍平	株式会社ドーガン・ベータ 代表取締役パートナー
理事	山岸 広太郎	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長
理事	片岡 正光	TBSイノベーション・パートナーズ合同会社 代表パートナー
理事	佐俣 アンリ	ANRI 代表パートナー
理事	平野 清久	大和企業投資株式会社 代表取締役社長
理事	山中 卓	i-nest capital株式会社 代表取締役社長/代表パートナー
監事	滝野 恭司	有限責任監査法人トーマツ トータルサービス事業部 (TS事業部) パートナー 公認会計士
監事	阿部 博	有限責任あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部長 パートナー 公認会計士
監事	齊藤 直人	EY新日本有限責任監査法人 企業成長サポートセンター センター長 シニアパートナー 公認会計士
名誉会長	仮屋 蘭 聡一	株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー
特別顧問	呉 雅俊	株式会社TNPパートナーズ 代表取締役社長

アーキタイプベンチャーズ株式会社
株式会社iSGSインベストメントワークス
i-nest capital株式会社
株式会社アコード・ベンチャーズ
朝日メディアラボベンチャーズ株式会社
Abies Ventures株式会社
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社
ANRI株式会社
池田泉州キャピタル株式会社
伊藤忠テクノロジーズベンチャーズ株式会社
いよぎんキャピタル株式会社
インキュベイトファンド
インフィニティ・ベンチャーズ有限責任事業組合
株式会社Wil
ウエルインベストメント株式会社
Eight Roads Capital Advisors (Hong Kong) Limited Japan Branch
株式会社エースタート
エス・アイ・ピー株式会社
SMBCベンチャーキャピタル株式会社
SBIインベストメント株式会社
NECキャピタルソリューション株式会社
株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ
大分ベンチャーキャピタル株式会社
岡三キャピタルパートナーズ株式会社
株式会社オプトベンチャーズ
株式会社環境エネルギー投資
Catalys Pacific, LLC

きらぼしキャピタル株式会社
株式会社gumi ventures
グローバル・ブレイン株式会社
株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ
XTech Ventures株式会社
株式会社ケイエスピー
株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ
株式会社KVP
ごうぎんキャピタル株式会社
Coral Capital
株式会社サイバーエージェント・キャピタル
株式会社サムライインキュベート
三生キャピタル株式会社
株式会社サンブリッジグローバルベンチャーズ
株式会社ジェネシア・ベンチャーズ
静岡キャピタル株式会社
株式会社ジャフコ
株式会社常陽産業研究所
信金キャピタル株式会社
新生企業投資株式会社
Scrum Ventures Japan LLC
STRIVE株式会社
スパークス・アセット・マネジメント株式会社
Spiral Capital株式会社
栖峰投資ワークス株式会社
株式会社ゼロワンブースター
大和企業投資株式会社

W ventures株式会社
地域創生ソリューション株式会社
筑波総研株式会社
株式会社TNPオンザロード
株式会社TNPパートナーズ
株式会社DG Daiwa Ventures
株式会社DGベンチャーズ
DBJキャピタル株式会社
D4V合同会社
株式会社ディーブコア
合同会社テックアクセルベンチャーズ
株式会社デライト・ベンチャーズ
株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社
株式会社ドーガン・ベータ
とっとりキャピタル株式会社
DRONE FUND株式会社
新潟ベンチャーキャピタル株式会社
ニッセイ・キャピタル株式会社
日本アジア投資株式会社
一般社団法人日本スタートアップ支援協会
日本プライベートエクイティ株式会社
日本ベンチャーキャピタル株式会社
Newton BioCapital S.A.
B Dash Ventures株式会社
肥銀キャピタル株式会社
Beyond Next Ventures株式会社

株式会社広島ベンチャーキャピタル
株式会社ファストトラックイニシアティブ
フェムトパートナーズ株式会社
株式会社福井キャピタル&コンサルティング
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
プライマルキャピタル (佐々木浩史)
株式会社 プライムパートナーズ
Plug and Play Japan株式会社
フリーバンクキャピタル株式会社
株式会社フレイ・ホールディングス
ベンチャーユナイテッド株式会社
北海道ベンチャーキャピタル株式会社
株式会社MAKOTO
みずほキャピタル株式会社
三井住友海上キャピタル株式会社
三井物産グローバル投資 東京支店
三菱UFJキャピタル株式会社
みやこキャピタル株式会社
株式会社みらい創造機構
モバイル・インターネットキャピタル株式会社
山口キャピタル株式会社
株式会社UB Ventures
ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社
リアルテックホールディングス株式会社
りそなキャピタル株式会社

株式会社アカツキ
アフラック・イノベーション・パートナーズ合同会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
インフィニオン テクノロジーズ ジャパン株式会社
AGキャピタル株式会社
SAPジャパン株式会社
SMNベンチャーズ株式会社
SGインキュベート株式会社
株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ
株式会社MTG Ventures
オムロンベンチャーズ株式会社
オリックス株式会社
近鉄ベンチャーパートナーズ株式会社
株式会社QUANTUM
グローウィン・パートナーズ株式会社
KDDI株式会社
合同会社K4 Ventures
株式会社講談社
GMO Venture Partners 株式会社
株式会社JR西日本イノベーションズ
JR東日本スタートアップ株式会社
株式会社JTB
松竹株式会社
株式会社スプリックス
住友林業株式会社

株式会社セールスフォース・ドットコム
セガサミーホールディングス株式会社
Zコーポレーション株式会社
株式会社セレス
ソニー株式会社
ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社
ソフトバンク株式会社
株式会社大洋グローバルビジネス
武田薬品工業株式会社
ダブルシャープ・パートナーズ株式会社
中京テレビ放送株式会社
ツネイシキャピタル株式会社
TIS株式会社
TBSイノベーション・パートナーズ合同会社
TEL Venture Capital, Inc.
株式会社電通イノベーションパートナーズ
東京海上ホールディングス株式会社
東京電力ベンチャーズ株式会社
東芝テック株式会社
凸版印刷株式会社
株式会社西日本新聞社
日本郵便株式会社
日本航空株式会社(JAL)
株式会社日本能率協会コンサルティング
日本郵政キャピタル株式会社

農林中央金庫
野村不動産ホールディングス株式会社
株式会社博報堂DYベンチャーズ
株式会社パワーソリューションズ
阪急阪神不動産株式会社
BEENOS株式会社
株式会社日立製作所
フォースタートアップス株式会社
富士通株式会社
フリービットインベストメント株式会社
株式会社ブロードリーフ
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
株式会社マイナビ
マネックスベンチャーズ株式会社
丸紅ベンチャーズ株式会社
三井不動産株式会社
三菱地所株式会社
ヤマトホールディングス株式会社
楽天株式会社
ワールド・モード・ホールディングス株式会社
YJキャピタル株式会社

株式会社アクシウム
アクセルパートナーズ税理士法人
アクセンチュア株式会社
あけぼの投資顧問株式会社
有限責任あずさ監査法人
アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
PwCあらた有限責任監査法人
アンテロープキャリアコンサルティング株式会社
EY新日本有限責任監査法人
株式会社INITIAL
内田・鮫島法律事務所
イー・アイ・キャピタル株式会社
監査法人A&Aパートナーズ
株式会社AGSコンサルティング
AZX Professionals Group
株式会社イービーイノベーション
エッグフォワード株式会社
江戸川公認会計士事務所
弁護士法人大江橋法律事務所
大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社
沖縄振興開発金融公庫
オレンジジャパン株式会社
株式会社海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）
木村・多久島・山口法律事務所
京都大学イノベーションキャピタル株式会社
京都リサーチパーク株式会社
グーグル合同会社
株式会社コトラ
コラーキャピタル・リミテッド
株式会社産業革新投資機構
三優監査法人
GCAテクノベーション株式会社
JSR株式会社
一般社団法人Japan Innovation Network

国立研究開発法人 情報通信研究機構
ジョーンズ・デイ法律事務所
株式会社Stand by C
株式会社ストライク
ダウ・ジョーンズ・ジャパン株式会社
WM Fund Associates株式会社
独立行政法人中小企業基盤整備機構
TMI総合法律事務所
デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザーリー合同会社
東京応化工業株式会社
東京急行電鉄株式会社
有限会社東京共同会計事務所
株式会社東京証券取引所
東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
有限責任監査法人トーマツ
トパーズ・キャピタル株式会社
西村あさひ法律事務所
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本証券業協会
株式会社日本政策金融公庫
日本ベンチャー学会
日本マイクロソフト株式会社
株式会社光通信
プロトスター株式会社
株式会社プロネクサス
一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター
ホワイト&ケース法律事務所
みずほ証券プリンシパルインベストメント株式会社
みずほ情報総研株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
森ビル株式会社
株式会社ユニヴィストータルサービス

ミッション：使命

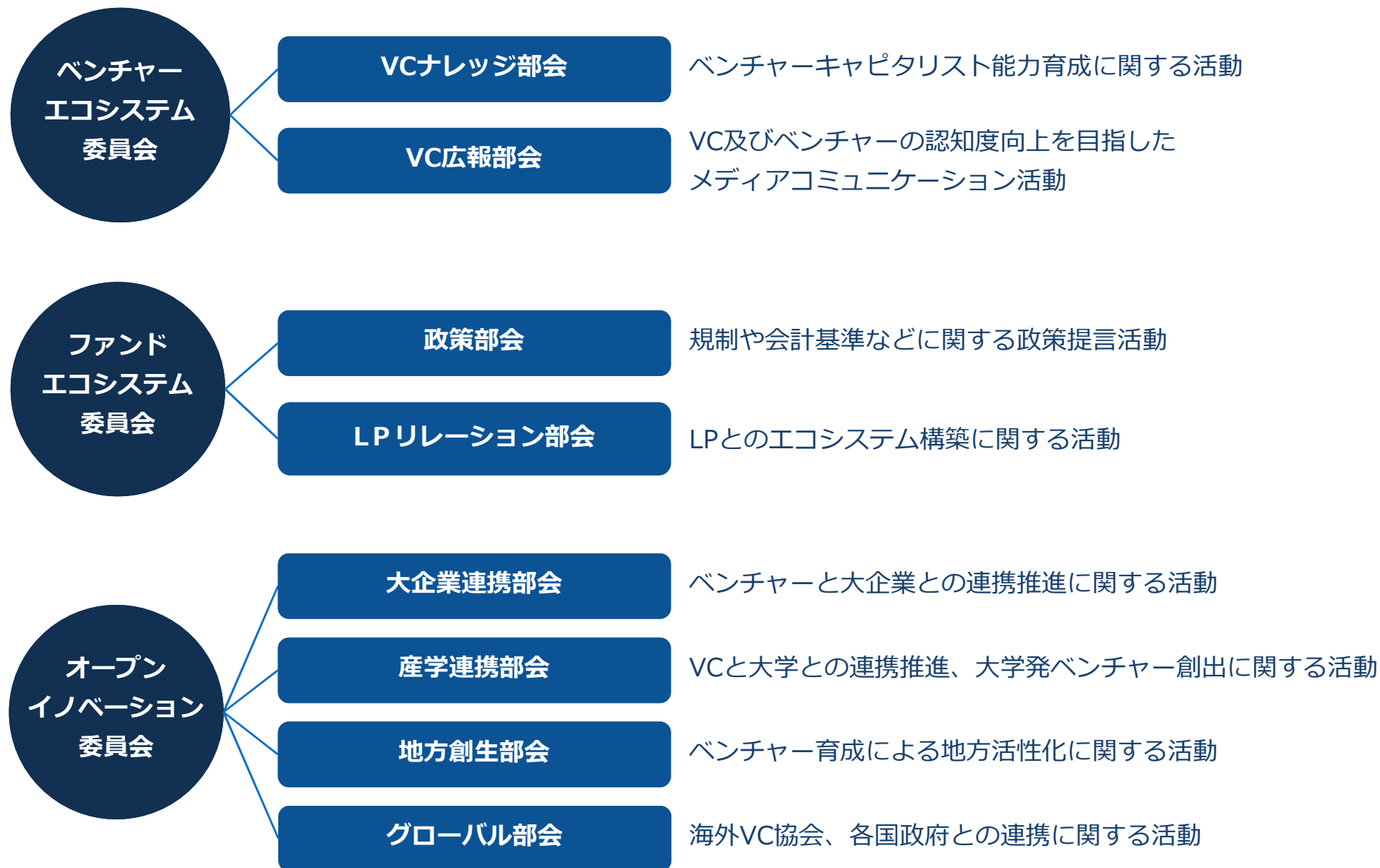
ベンチャーエコシステムの発展拡大による新産業創造を通じて、日本発世界経済の発展に寄与する

ビジョン：目的

1. ファンドレイズ
VC資金調達額の向上/GPファンドレイズ
活動支援
2. バリューアッド
投資・付加価値活動の質量向上
(キャピタリスト/起業家/テーマ)
3. オープンイノベーション
産学官・大企業が連携し、オープン
イノベーションによる新産業創造を支援する
4. 人材育成
ベンチャーキャピタリスト育成および
起業家・プロ経営者育成支援

バリュー：姿勢

1. 協会を「社会的存在」として、大規模な産業・
企業創造を目指し、政府・省庁と繋がり、
アドバイスを行う立場にする
2. 協会運営を「戦略」的に考え、ビジョン・
イシュー・マイルストーン等を導入し運営する
3. 協会を、会員成功のための「互助会」とする



ベンチャーキャピタリスト研修・リユニオン

- ベンチャーキャピタリスト育成を目的とする業界統一の研修を2004年から毎年6月頃開催、これまでに1400名におよぶ受講生を輩出
- 講師陣は第一線で活躍するキャピタリストが務め、ベンチャーキャピタリスト（投資担当者）に求められる知識・スキルを体系的に学習可能
- 2020年は5月と6月の2回開催、会員企業のVC・CVC・事業会社等から計160名超が受講
- 受講約半年後に、過去の受講生も含めた同窓会「キャピタリスト研修リユニオン」を開催。2019年12月は“キャピタリストとしてのブランディングと発信”と題して3人の先輩GPによるパネルディスカッションも実施



定例勉強会

- 全会員に参加いただける勉強会として、相互啓発とネットワーキングの場をご提供
- 2019年4月【第121回 定例勉強会】株式会社東京証券取引所（株式会社日本取引所グループ）/JVCA共催
「東証アローズ見学&IPO セミナー」講師：東京証券取引所 上場推進部ご担当者
「パネルディスカッション」パネリスト：株式会社アカツキ 小川智也氏、株式会社グロービス・キャピタル・
パートナーズ 今野穰氏、モデレーター：東京証券取引所 宇壽山図南氏
- 2019年8月【第122回 定例勉強会】
「ベンチャーキャピタリストが留意すべきインサイダー取引、理解すべきハラスメント防止の基礎」
講師・パネリスト：日本取引所自主規制法人 牧野雄介氏、AZX総合法律事務所 雨宮美季氏、
Fresco Capital 鈴木絵里子氏
- 2019年12月【第123回 定例勉強会&忘年会】「2019年VC業界を振り返り」
- 2020年6月【第124回 定例勉強会】「VCおよびスタートアップにおける知財対応について」
スピーカー：日本弁理士会知的財産経営センター 担当副センター長 下田俊明氏



VC/CVC会員限定；中堅キャピタリスト向け“ナレッジ勉強会”

- VC/CVC会員限定にて、中堅以上のキャピタリスト間のナレッジ共有を図る勉強会を開催
- 2019年5月「ベンチャー投資におけるM&A EXIT実務の徹底研究」
GCA株式会社 小林丈人氏 他
- 2019年11月「ベンチャー経営者報酬の徹底研究」
シニフィアン株式会社 小林賢治氏、株式会社ユーザベース 稲垣裕介氏、平野清久部会長、志水雄一郎委員
- 2020年1月「インダストリートランスフォーメーション時代におけるGovernment Relations」
シティライツ法律事務所/Public Meets Innovation 水野祐氏、株式会社ペイミー 後藤道輝氏、
株式会社NearMe 高原幸一郎氏、ニューポート法律事務所 齋藤貴弘氏、
株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 野本遼平氏、平野清久部会長
- 2020年5月「景気後退期におけるVCの役割と投資戦略」
株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 今野穰氏、インキュベイトファンド 本間真彦氏、丸山聡委員



メディアプレゼンテーション

- メディア関係者に向け、ベンチャーキャピタル業界およびスタートアップの最新動向をご紹介、各領域の起業家などをお招きし、パネルディスカッションを実施
- 2017年5月：フィンテック領域の“運用・融資・送金”（株式会社FOLIO・Global Mobility Service株式会社・株式会社Kyash）、2018年2月：フロンティアテック（宇宙）領域（株式会社ispace・株式会社アクセルスペース・株式会社アストロスケール）、2018年7月：ブロックチェーン業界（株式会社ALIS・株式会社Tokyo Otaku Mode）
- 2019年1月は年頭にあたり2本のパネルディスカッションを実施：
「2019年 スタートアップの動向を占う」（株式会社gumi 國光宏尚氏・UBS証券株式会社 武田純人氏）
「SDGsベンチャー特集」（ライフイズテック株式会社 水野雄介氏・READYFOR株式会社 米良はるか氏）
- 2019年6月は、有力機関投資家とGPによるパネルディスカッションを実施
- 2019年11月「地方発ユニコーン企業の創出」（KDDI株式会社 松野茂樹氏・株式会社MAKOTO 竹井智宏氏・リアルテックファンド 永田暁彦氏・株式会社ドーガン・ベータ 林龍平氏）



Forbes JAPANによる『日本版Midas List (ベンチャー投資家ランキング)』の発表 (2019年11月)

- 米国「Forbes」が毎年選定している「The Midas List (最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング)」の日本版。ランキング集計に際し、Forbes JAPANにJVCAとして全面協力
- 2019年度も Forbes Japan (2019/11/25発売号) にてベンチャーキャピタリストランキングが掲載



JAPAN'S MIDAS LIST

日本で最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング

「日本版 MIDAS LIST (最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング)」は、2019年12月に東証プライム上場企業・創製・創設システム研究所などに投資した山本智也がトップに輝いた。

フォーブス ジャパンは、日本ベンチャーキャピタル協会 (JVCA) の協力のもと、会員企業にアンケート調査を行い、その回答から「日本版 MIDAS LIST」を作成した。2018年11月から19年10月の1年間にわたる IPO (新規株式公開)、M&A (合併・買収) などによって得たキャピタルゲインが対象。具体的には、IPO によるキャピタルゲインは保有株式を前提で売却した金額 (公売先

り出しの場合はその金額) から投資金額を引いて算出。M&A は支払いが確定している金額で算定し、アーン・アウト (将来の業績に応じた支払い) による支払い金額は含まず、投資金額を控除して算出している。今回のランキングでは、UTEC 取締役パートナーの山本智也が1位に輝き、キャピタルゲインは107億円 (創業期増資) となった。

スタートアップ・エコシステムさらなる醸成へ

2019年の日本のベンチャーファイナンスは、スタートアップ投資市場への投資が中心であった。この中で、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。2019年のスタートアップ投資市場の成長は、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。スタートアップ投資市場の成長は、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。

この中で、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。スタートアップ投資市場の成長は、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。スタートアップ投資市場の成長は、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。

スタートアップ投資市場の成長は、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。スタートアップ投資市場の成長は、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。スタートアップ投資市場の成長は、スタートアップ投資市場の成長が顕著であった。

2019年TOP5	2017年TOP5
1 山本智也 (UTEC)	1 高宮慎一 (P&Gキャピタルパートナーズ)
2 吉田淳也 (SVC)	2 坂橋太郎 (SVC)
3 小沼晴義 (ジャフコ)	3 河野博一 (P&Gキャピタルパートナーズ)
4 田中正人 (SVC)	4 加藤由紀子 (P&Gキャピタルパートナーズ)
5 佐藤栄司 (三菱UFJキャピタル)	5 加藤由紀子 (P&Gキャピタルパートナーズ)
6 坂本敦寛 (UTEC)	6 加藤由紀子 (P&Gキャピタルパートナーズ)
7 郷治友孝 (UTEC)	7 加藤由紀子 (P&Gキャピタルパートナーズ)
8 渡辺洋行 (目黒インベストメント)	8 加藤由紀子 (P&Gキャピタルパートナーズ)
9 三澤宏之 (みずほキャピタル)	9 加藤由紀子 (P&Gキャピタルパートナーズ)
10 林政憲 (目黒インベストメント)	10 加藤由紀子 (P&Gキャピタルパートナーズ)

日経NEXTユニコーン調査 (2019年11月)

- 日本の有望スタートアップ企業の実態調査「NEXTユニコーン調査」が日本経済新聞社にて2017年から引き続き3回目が実施され、有望なスタートアップ企業の推薦等に、JVCAとして全面協力
- 2019年7月にJVCA各VC・CVC会員企業からの推薦を実施
- 2019年11月に日本経済新聞社、日本経済新聞電子版、日経産業新聞に掲載



2019年11月4日付 日本経済新聞 朝刊

政策提言および啓蒙活動

- 金融商品取引法の2015年6月3日改正に併せて「金融商品取引法改正等に係る政令・内閣府令」も改正、2016年3月1日に施行され「適格機関投資家等特例業務届出者」に対して新たな行為規制が適用された。金融庁の改正意図・主旨も踏まえつつ、一方で実務レベルで対応可能な内容となるよう、業界を代表して見直し案に対する業界意見の集約と摺り合せに取り組むとともに、改正内容について業界への周知啓蒙を目的とし説明会を実施
- 2019年5月27日に外為法に基づく対内直接投資（外国投資家による非上場株式の取得）等に関する事前届出対象業種の追加等を行う改正告示が発表されたことに合わせ、国内VC投資及び国内ファンドレイズへの悪影響を避ける一方、外為法規制の本来の趣旨と国の成長戦略とをともに実現していくため当局へ対応施策を提言。提言内容を踏まえた形で2020年4月30日に「対内直接投資等に関する政令等の一部を改正する政令」及び関連改正省令・告示が公布され、同年6月7日より全面適用となった
- 新型コロナウイルスの世界的な流行を受け、ベンチャーエコシステムへの悪影響を早急に抑制するとともに、流行収束後の社会を見据えた我が国経済の回復・成長を主導するため、2020年4月に、JVCA会員企業が推薦する「コロナと戦うベンチャーリスト」を公開。同時に政府に対し、スタートアップの資金繰り等の支援ならびにVCへのLP出資拡充を要望
- 業界団体として引き続き業界意見を集約し提言を行うとともに、啓蒙活動及び法令周知・順守を呼びかけていく



経済産業省より「我が国におけるベンチャー・エコシステム形成に向けた基盤構築事業」の受託

- 経済産業省より上記事業に係る調査研究を5年連続で受託。経済産業省のWEBサイト上に掲載

15年度：「VCファンドのパフォーマンス評価に係る調査報告書」

16年度：「国内VCファンドの時価評価に係る実務指針」

17年度：「投資事業有限責任組合契約（例）及びその解説」

：「我が国における健全なベンチャー投資に係る契約の主たる留意事項」

18年度：「我が国のコーポレートベンチャリング・ディベロップメントに関する調査研究
～CVC・スタートアップM&A活動実態調査ならびに国際比較～」

19年度：「投資家向けデューデリジェンスQ&A（DDQ）ならびに四半期レポート（QR）雛形」

- 18年度調査研究「投資事業有限責任組合契約（例）及びその解説」は書籍化

書籍名：ベンチャーキャピタルファンド契約の実務 —新契約例と時価評価の解説

著者：JVCA、弁護士法人大江橋法律事務所、EY新日本有限責任監査法人

出版社：きんざい



- 今後もVCアセットクラスの状態向上、業界内ナレッジ向上に向けた取組を行っていく

国内VC初「国内VCパフォーマンスベンチマーク」リリース

- 2020年6月、オルナタティブ投資業界におけるデータ提供会社であるPreqin社と共同で、国内VCファンドを対象とした「国内VCパフォーマンスベンチマーク」を初リリース
- JVCA会員企業で当ベンチマークの対象となるGPのうち、24社・76ファンドの協力を得、2010～2018年組成のファンドについて、IRR、ネットマルチプル等のパフォーマンスデータの中央値を年毎に公開
- VCアセットクラスへの機関投資家マネーの流入を目指し、会員各社のご協力をいただきながら、継続的なベンチマーク提供を行っていく

【図表1:ベンチマークカバレッジ(2000年～2018年)】*

	ベンチマーク	国内VC市場	カバー率
ファンド数	76	597	13%
ファンドコミットメント総額	1.1兆円	2.5兆円	43%

出所:Preqin Pro. Preqin-JVCA国内VCベンチマーク調査(2019年12月実施)

【図表2:中央値ベンチマークテーブル(2018年12月末時点)】**

ビnteージ	ファンド数	PIC (%)	DPI (%)	RVPI (%)	ネットIRR (%)	ネットマルチプル (X)
2010	3	100.0	87.3	145.5	14.9	2.15
2011	6	100.0	96.3	102.3	20.1	2.16
2012	3	100.0	126.6	71.3	31.1	3.07
2013	7	100.0	23.0	142.2	16.9	1.71
2014	7	100.0	17.2	119.0	15.7	1.55
2015	11	90.0	0	105.6	5.7	1.08
2016	6	76.5	0	95.8	n/m	0.96
2017	5	75.0	0	80.0	n/m	0.80
2018	5	20.0	0	40.3	n/m	0.40

出所:Preqin-JVCA国内VCベンチマーク調査(2019年12月実施)

ファンドデータご提供会員企業 (社名五十音順)

アーキタイプベンチャーズ、ANRI、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ、インキュベイトファンド、Eight Roads Capital Advisors (Hong Kong) Limited Japan Branch、SBIインベストメント、オプトベンチャーズ、環境エネルギー投資、グロービス・キャピタル・パートナーズ、慶應イノベーション・イニシアティブ、KVP、サムライインキュベイト、ジェネシア・ベンチャーズ、ジャフコ、STRIVE、大和企業投資、TNPオンザロード、D4V、Genuine Startups、東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC)、ドーガン・ベータ、日本ベンチャーキャピタル、ファストトラックイニシアティブ、リアルテックジャパン

ファンドマネジメント勉強会

- 2017年11月「VCファンドの公正価値評価実務に関する解説&交流会」
VC業界のファンド運営能力強化を目的としたコントローラー向けの勉強会・交流会をJVCAとして初めて開催。
ファンド管理業務を遂行する担当者約40名が参加
- 2018年2月 日本投資顧問業協会主催“FMアナリスト研修”にてファンドエコシステム委員会 村田委員長が
登壇し、80名近い日本投資顧問業協会の会員向けに講師として登壇
- 2018年10月「ファンドマネジメント勉強会」
経済産業省より2018年4月に公開された「投資事業有限責任組合契約（例）及びその解説」について勉強会を開催



VC/CVC会員限定 ; CVC/オープンイノベーションフォーラム & フォローアップセミナー

- JVCAでは大企業とベンチャー企業/VCとの連携を促進する目的のもと、各種CVCイベントを開催
- 2019年10月に開催した第8回目CVC/オープンイノベーションフォーラムは 総勢160名を超えるCVC担当者が参加。「経営からみたCVC、海外からみたCVC」と題し、企業経営からみたCVCの在り方やコーポレート・ベンチャリングに取り組んでいる事業会社、CVC各社のベストプラクティスをご紹介するセッションを実施。加えて、本年は海外CVC担当者を多数お招きし、グローバル・ベストプラクティスとトレンドやグローバルCVCの事例についてのセッションを実施。
- 2020年2月にはフォーラムのフォローアップイベントとして、CVC会員限定のラウンドテーブルを開催。ディールソーシングからEXITに至るまでの各プロセスにおけるナレッジシェアに加えて、CVCを持つ目的、成果、組織デザインや採用・報酬の考え方などの「持続的なCVCの在り方」について議論。
- 年に一度 新規ご入会のCVC会員同士の交流会「CVC新規会員懇談会」を開催



大学発ベンチャー創出シンポジウム（2020年1月）

- 4回目となる文部科学省との共催シンポジウムを2020年1月に日比谷ミッドタウン BASEQにて開催
- 大学関係者とVC/CVCが集う貴重な機会として300名を超える申込があり、大学教員、産学連携ご担当者、VC/CVC、自治体、省庁・国立機関、企業など約280名が参加
- 今年度はライフサイエンス、宇宙分野で活躍する大学発ベンチャーの取組を紹介するとともに、大学、政府、民間、それぞれの立場から大学発ベンチャーエコシステム構築に向けた在り方を議論した



地方創生VCトップ懇談会

- 各地域で活躍されているVC各社のトップ及び、業界関係者に年に1度東京以外にお集まり頂き、地方のスタートアップエコシステムについてのベストプラクティス共有や意見交換を実施
- 第1回地方創生VCトップ懇談会は2015年5月に福岡にて開催、第2回は同年10月に広島、第3回は2016年10月仙台、第4回は2017年10月熊本、第5回は2018年10月愛媛松山にて実施
- 2019年10月は「第6回地方創生VCトップ懇談会(浜松)」と題し静岡県浜松市にて、地元起業家、自治体、経済団体、金融機関、大学、事業会社、東京から経済産業省、金融庁、東京証券取引所、中小企業基盤整備機構等が参加、「浜松のベンチャーエコシステムの展望と課題」「地方におけるテック系ベンチャーの育て方」の2セッションを実施
- 2020年1月には前年10月の開催地である浜松の起業家にご登壇頂き「浜松スタートアップピッチ大会in東京」を開催



地域イベントへの後援

■ JVCAでは、地域経済の活性化を活動方針のひとつに掲げ、地域イベントへのご協力を実施

■ 2019年度は以下の地域イベントに後援を実施

2019/5 「YMFG UNICORN PROGRAM」 (主催：山口フィナンシャルグループ、もみじ銀行)

2019/10 「フクオカ・スタートアップ・セレクション2019」 (主催：福岡市)

2019/12 「X-tech match up 2019」

(主催：ふくおかフィナンシャルグループ、福岡銀行、熊本銀行、十八銀行、親和銀行)

2019/12 「筑波大学発ベンチャーシンポジウム」 (主催：筑波大学)

2020/1 「ベンチャーマーケット岡山」 (主催：岡山県)

2020/2 「SENDAI for Startups!2020」 (主催：仙台市)

他



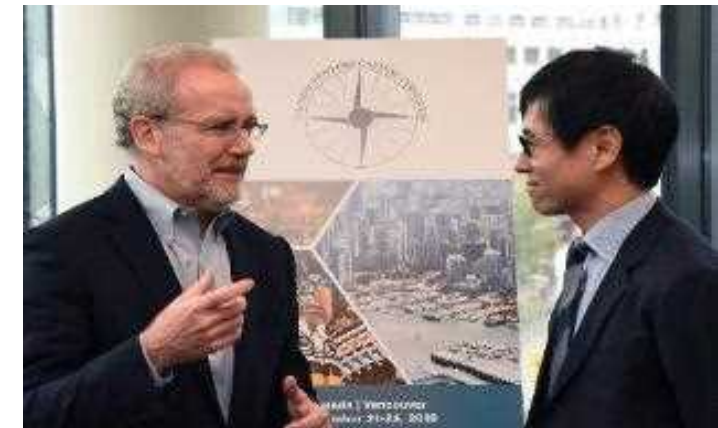
FUKUOKA
STARTUP
SELECTION



「Global Venture Capital Congress」(GVCC) 「Asia VC&PE Council」(AVCPEC)等 各種海外カンファレンスへの出席

GVCC ～Global Venture Capital Congress～

- 米国Terry McGuire氏が主催。世界のVC/PE協会が集まり、各国のロビー活動、規制問題、ファンド投資家と運営者間のコミュニケーション、各種データ整備、クロスボーダーディールの創出等について課題共有、討議を実施
- 2016年9月カナダ バンクーバー開催、2018年4月オーストラリア シドニー開催に、JVCAからも出席



AVCPEC ～Asia VC&PE Council～

- アジアにおける起業促進のための環境整備、そしてVC/PE業界の発展に向けた協力を主旨に掲げ発足
- アジア各国のVC /PE協会が集まり、各国におけるVC/PEマーケット動向や課題などを共有



JVCAトップ懇談会（東京）（2020年5月）

- 会員企業の代表の皆様にご参加いただく「トップ懇談会」を毎年3～4月頃に開催
- 2020年は、5月にオンライン開催にてJVCAの各委員会（ベンチャーエコシステム委員会・ファンドエコシステム委員会・オープンイノベーション委員会）で計3回開催、希望される回に1回ご参加いただき合計約80名が参加
- 各委員会より活動についてのプレゼンテーション及び、参加者全員での意見交換を実施



ベンチャー関係者の交流の場も備えた六本木イノベーション拠点（於：六本木アーク森ビル）

- 日本ベンチャーキャピタル協会及び独立系ベンチャーキャピタル3社のオフィスに、ベンチャーに纏わる人々の交流が可能なラウンジエリア「Crossover Lounge」が設置され、JVCAイベントを開催
- JVCAは、イノベーションを目指す人たちが、互いの領域を超えて交流できる場を提供し、新しいビジネスの創造に向けて必要な人材やアイデアを生み出していくことを目指し活動推進



1 メール配信

会員限定の各種ニュース・セミナー・イベントのご案内をメールにて配信



2 ウェブサイト

■JVCA公式ウェブサイト <http://www.jvca.jp/>

JVCAの活動やその他業界関連のニュースの他、セミナーや勉強会等のイベントなどのご案内/レポートを掲載

■会員専用ページ

JVCA公式ウェブサイトの会員専用ページ(MEMBER PORTAL)をリニューアル。調査報告書や会員規約、会員向メールマガジン、一部勉強会・イベントの動画等がご覧いただけます。



3 Facebook

JVCAの活動状況や各種イベント・勉強会の様子を写真を交えて紹介



4 ニュースレター

JVCAの活動、VC業界の動きを掲載したニュースレターを発行



一般社団法人
日本ベンチャーキャピタル協会

〒107-6003

東京都港区赤坂1-12-32

アーク森ビル3階

- TEL:03-5114-6667
- FAX:03-5114-6668
- E-mail : jimukyoku@jvca.jp
- URL : <http://www.jvca.jp>


※お問い合わせ等ございましたらお気軽にご連絡ください。



- **【ミッション】**
科学技術関連の研究成果の事業化支援、産学連携の橋渡し
- 独立系の民間ベンチャー・キャピタル
- 京都(本社@京都大学)、東京、米国シリコンバレーの3拠点
- 京都大学の認定民間VCファンド運営事業者
 - ・ みやこ京大1号ファンド
 - ・ みやこ京大2号ファンド を運営、約170億円を運用中
 - ・ 国内外の大学発ベンチャーなど30社超に投資実行



「日米25年周回遅れ」説 / 「VC京都発祥」説

- 1946年 (WWⅡ直後)
Harvard大学MBAのGeorge Doriot教授*が
American Research and Development
Corporation(ARDC)を設立
* INSEAD創業者, “Creative Capital”の著者
 - 1972年 金融自由化 (規制緩和)
当局の許認可なしでVCファンドの登録制度がスタート
Sequoia Capital, KPCB 創業
以降、多数の専業VCファームがBoston, SF周
辺に誕生 ※MS, Apple等の創業は直後
 - 1994年 NetScapeブラウザの誕生
インターネット(web)ブーム、.comバブルの到来
 - 1972年 京都経済同友会のARDC視察
KED(京都エンタープライズ・デベロプメント)
設立、日本電産などに投資
※NED(長銀), JVC(住友), JAFCO(野村)
 - 1996年 金融ビッグバン(金融システム改革)
有責法の制定、証券取引法の抜本改正
1999年 東証マザーズ 設置
以上、ベンチャーブーム(IT、バイオ)
- 
- 2020年 コロナ渦
2021年 東京五輪 2025年 関西万博 etc
⇒ イノベーション加速につながる大イベント?!
 - ユニコーン群の誕生
 - 日本型ベンチャーエコシステムの成功事例
(「真の」産学連携、ベンチャ・大企業連携)
 - 本格的な間接金融から直接金融、官から民

【課題・ペイン】

- 人手不足(高齢化)
- 生産性の向上/デジタル化
- コロナ感染予防
- 国土強靱化(災害対策)
- オープンイノベーション(技術の活用)

【将来展望】

- 五輪
- 東京の再開発
- 2025年国際博覧会(大阪・関西万博)
- その他の大型プロジェクト
- 官・民/大企業・ベンチャー連携の進化



など多数のベンチャー企業が勃興！



株式会社 Liberaware (リベラウェア)

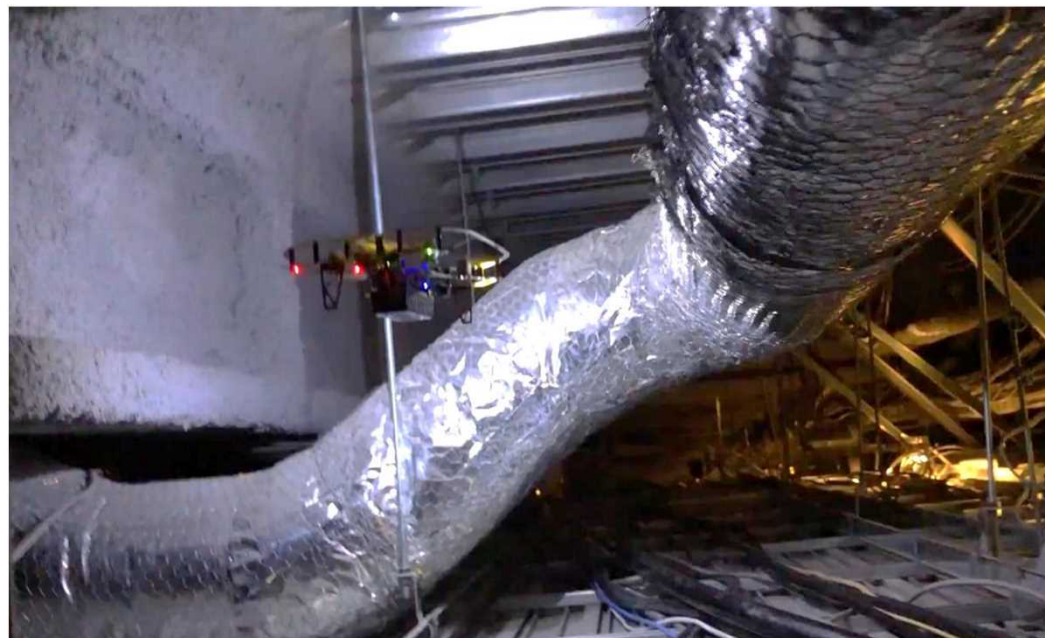
- 千葉大学発ベンチャー (野波 研究室)
- 小型ドローンを用いた屋内空間の点検・測量・検査、作業効率化
- 狭小/暗所空間を、非GPS環境下においても安定的に自律・自動飛行が可能
画像の解析・編集 (ソフトウェア)、防塵モーター
- 実績
 - ・ 清水建設 (工事現場の点検)
 - ・ 竹中工務店 (建設現場の施工管理) アクセラレーターに採用
 - ・ JR東日本 (駅庁舎天井裏の点検) アクセラレーターに採用
 - ・ 東急建設 (駅庁舎内部の点検) など

建設業におけるスタートアップ企業の取組 ①

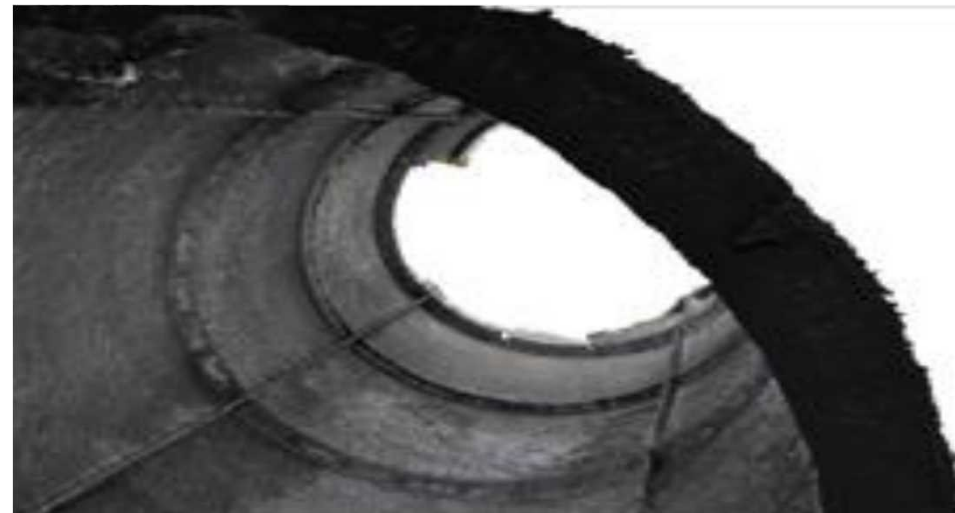


株式会社 Liberaware (リベラウェア)

屋根裏の点検



煙突内の点検 (3D化)



煙突内の点検
(点群化)





株式会社 助太刀

- 「建設現場を魅力ある職場に」をミッションに掲げ、建設業の人手不足解消のため、建設業に従事するすべての人たちを支えるプラットフォームを提供
- 元請/下請け探し（業者間マッチング）にITツール（アプリ）を導入し
求人/求職マッチング
⇒ サービス開始より約2年間で13万超の登録事業者を獲得
- この他フィンテックやEC事業も展開（工事代金の受け取りサービス）、建機レンタル事業など幅広く展開、多様な業種の手企業との連携・協業も積極的に実施
- 若年入植率の改善、建設業におけるIT化促進を見込み成長期待



株式会社 助太刀

マッチング事業



助太刀

助太刀プロ (1,980円/月)
助太刀ビジネス (29,800円~/月)



助太刀社員

求人掲載料金 (5万円~/月)

フィンテック事業



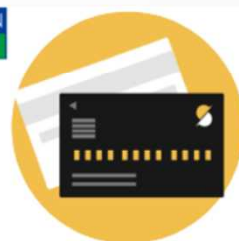
助太刀あんしん払い

ファクタリング手数料



助太刀労災

加入手数料



助太刀カード

+



あいあいニッセイ同和損保

傷害保険

カード
付帯

EC事業

助太刀ストア

HiKOKI



工具修理

AKT/O



建機レンタル

出店手数料



株式会社 助太刀

【建設業の課題】

- ICT化の遅れ
 - 仕事も人手も探す時は仲間からの紹介のみ
 - いまだに電話・FAX連絡
- 「困り込み」の慣習
 - 全く同じスキルを持つ職人でも元請けを超えたつながりがない
- 不安定な経営環境
 - 忙しい時と暇な時の波が大きく、経営が安定しない。

【今後の展望】 ★ IT利活用、コロナ渦の影響

- 「困り込み」により取引先が一つしかないという状況から、複数の取引先を持ち、有事の際にも仕事が途切れないようにしたいというマインドの変化が起こる。
- 仲間などからの紹介でしか、取引先や下請けを探せない現状から、助太刀などのITサービスも積極的に利用するようになる。
- 330万人の職人（技能労働者）はほとんどが個人事業主だが、今回の経験を経て、安定や保証のため正社員として雇用されることを希望する職人が増える。